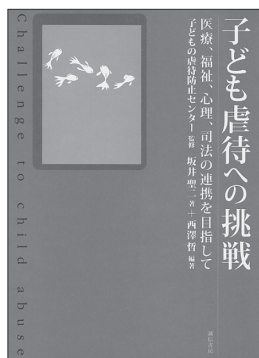


日本近現代 医学人名事典 1868-2011

編：泉孝英 発行：医学書院 TEL：03-3817-5657
定価 12600 円(本体 12000 円+税 5%)

わが国の近・現代医学・医療に携わった物故者 3762 名の業績を紹介する人名辞典。その業績を医学の領域に限らず、先人の生き方や魂に触れる歌集や句集、追悼記や伝記も含めたことで、日本の近現代の医療を担った人々の志や、社会への貢献、豊かな心のありようにも触れることができる。看護師・保健師の先駆者も名を連ね、その仕事のすそ野の広さを伝え、視野を広げてくれる。先人の足跡は、雄弁な未来への道しるべ。



子ども虐待への挑戦

医療、福祉、心理、司法の連携を目指して

著：坂井聖二 編著：西澤哲 監修：子どもの虐待防止センター
発行：誠信書房 TEL：03-3946-5666 定価 3990 円(本体 3800 円+税 5%)

子どもの虐待防止センターの初代理事長・故坂井聖二医師の子ども虐待に関連する論文やメモを第 1 部に据え、各領域の実践家や研究者が「返歌」のかたちで、現在の「取り組みと現連携」を解説する。「医師が虐待された子どもを診断し治療することを、様々な理由を挙げて避けようとするとき、それは子どもたちにとっては、『ネグレクトという虐待』にほかならない。(中略)そのような悲劇的な事態だけは絶対に避けなければならない」。坂井医師の熱いメッセージに応え、多職種連携を模索する意欲作！



当事者研究の研究

編：石原孝二 発行：医学書院 TEL：03-3817-5657
定価 2100 円(本体 2000 円+税 5%)

北海道浦河の「べてるの家」から始まった「当事者研究」は、いま、あらゆる障害領域に広がりを見せている。「自らの苦勞を取り戻し、人とのつながりを回復することによって、自分を発見していく」当事者研究。自分を見つめ、「研究」することで、障害者としての「苦勞を取り戻す」ところから出発するそのスタンスは、専門家による「対象」へのまなざしと対立するものではない。本書は、当事者の本当の「困りごと」から開ける新しい天地を伝える。医療職者必読！



震災日録 記憶を記録する

著：森まゆみ 発行：岩波書店(岩波新書) TEL：03-5210-4000
定価 861 円(本体 820 円+税 5%)

弊誌連載「町で暮らし人と出会う」の著者・森まゆみさんは東京で東日本大震災に遭遇した直後、「(震災に遭遇して)感じたこと、考えたこと」を書いてもらえないかと依頼を受けた。以来、森さんは新聞やテレビには出ない、人々のかすかな、震える声を聞き取りとることが大切と考え、自らも東北に足を運び、現地でなければ聞けないこと、知れないことをまとめた。一言一言に重みがある 1 年分の記録である。